

住民が主人公の政治へ、全力つくします 日本共産党



新年あけまして
おめでとうございいます

日本共産党寝屋川市委員会

いま大阪では、人々のくらしや地域社会が、
国の政治によって壊されつつあります。

「このままではくらしがなりたたない」「年寄りは死ぬということか」など、まさに政治に対する怒りと怨嗟の声が満ちあふれています。

今年の二大選挙での日本共産党の勝利と躍進を実現し今年こそ府民のくらしに活路をひらく年にしましょう。

日本共産党寝屋川市会議員団と力合わせて要求実現と政治革新にがんばります。

二〇〇七年 元旦

党前参議院議員 宮本たけし
党府政対策委員長 太田くみ子

市会議員 田中ひさ子

市会議員 中谷 光夫

府政対策委員長 太田くみ子

党市くらし福祉対策委員長 太田とおる

市会議員 中林かずえ

市会議員 松尾 信次

市会議員 寺本とも子

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 1993

田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
☎ 839-2289

中谷 光夫
高宮 2-19-5
☎ 823-5947

松尾 信次
下木田町 12-6
☎ 821-7427

12月議会・中谷光夫議員が討論 75歳以上医療改悪にかかわる予算に反対

高齢者が扶養からはずされ 予想額6万2千円もの負担増

十二月定例市議会が二十日に閉会しました。

日本共産党議員団を代表して、中谷光夫議員が討論をおこないましたので紹介します。

「日本共産党議員団を代表して、一般会計補正予算(第三号)に反対討論をおこないます。」

反対する理由の一つは、『大阪府後期高齢者医療広域連合設立にかかる経費』六一三万三千元の支出についてです。

私たちは、議案第八七号『大阪府後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議』に、①地方分権に反する国からの法律のおしつけ②扶養家族になっていた高齢者が扶養からはずされ、全国平均予想年額6万2千円もの負担

増となること③広域連合議会の議員定数が二十人という、四十三市町村すべての意見を反

映するものになっていないこと、などから、反対の態度をとりました。

不当な制度を容認する支出を、今回認めることはできません。

『行革』の名で職員削減 クリーンセンター業務委託

反対理由の二つ目は、『クリーンセンター焼却施設維持管理運転業務経費(委託料)』にかかわる『債務負担行為補正』についてです。

これは、『行財政改革第三期実施計画(素案)』で十六人の職員削減にともなうものです。

また、市民に対して、パブリックコメント中で、計画が決まっていない中で提案は、見切り発車である点についても、大きな問題であることを指摘しておきます。

委員会審査で、当時の環境部長が、当該の職員組合には、『行革』については、クリーンの操作部門だけで、『新炉の建設までは委託化はしない。二〇一〇年

力中とのことですが、労使合意をふまえる点で、大きな問題を残したことを認めることはできません。

会問題となっている今、安心して子どもを産み育てられる条件整備の拡充は緊急課題です。本定例会で、全会派から一致して対象年齢の引き上げを求める意見が出されたことは、大きな意味をもちます。市として、本制度の拡充を具体化することを強くもとめ、討論とします。」

食の安心・安全確保を 求める意見書採択

十二月議会、意見書・決議については、日本共産党議員団から提出した、一・リハビリテーション日数制限等の見直しを求める意見書 二・食の安心・安全確保を求める意見書

を含め、六件が採択されました。



07年寝屋川
新春のつどい
とき:1月14日(日)
ところ:寝屋川市民会館

親睦・交流会
12時半~小ホール

各後援会からのおいしい料理と
出し物があります

会費1500円・高齢者1000円・青年500円
主催:日本共産党寝屋川後援会・市委員会

一方で、自治経営推進室には、『委託化が可能』と回答していたことから、トップダウンでおこなわれてきたことです。

現在、最終合意に努

